

Q

# コロナの日々と 市民生活

おおた 太田 ただよし 忠芳 議員



A

# 様々な場面で関係機関と協力して 支援を行う

# 市の考えを問う 一般質問

9月14日・15日・16日の3日間行  
われた一般質問の主な質問（Q）  
と答弁（A）の概要を掲載します。

**問** 感染拡大を防ぐため、PCR検査の実施を増やす必要があるのでは。

**答** 公的医療保険の対象となる行政検査に係る費用の一部を助成し、早期の治療や療養で感染拡大防止を図る。

**問** 国保加入者の医療状況は。

**答** 国民健康保険の被保険者の受診状況は、前年同月との比較で5月が減少のピークで、現在は同様の件数に戻りつつあるが、感染リスクを恐れて医療機関の受診を控える被保険者が多かったことがうかがえる。

疾病の早期発見や重症化防止のため、自己の判断で受診を控えたり延期したりせず、かかりつけ医等に相談してほしい。

**問** 困窮高齢者への対応は。

**答** 6月から7月にかけて、民生委員がいらない地域を対象として、独り暮らしの高齢者の自宅を生



活支援員が訪問し、必要な支援につなげていくための取組を行った。今後も必要な支援を行う。

**問** 生活困窮者の状況は。

**答** 出勤抑制や営業自粛、雇止め等で減収となった生活困窮者が生活サポートセンターに相談するケースが増えている。

また、生活保護申請等の案内についても広報の臨時号で目につくよう啓発している。



市内の水害状況

**問** 内水ハザードマップから見える今後の水害対策について。

**答** 本市では、これまでに外水氾濫はなく、昨年台風第19号で見られた道路冠水や住宅の床下浸水など、全て内水による被害である。内水ハザードマップにより、水害発生時の冷静な判断と正しい避難行動や自宅での事前対策を市民に啓発し、浸水被害の軽減につなげていきたい。

**Q** 地域防災と地域コミュニティの活性化

うちの内野 嘉広 議員

**A** 地域住民と行政が協力・連携していくことが重要



**問** 地域と学校との防災意識の共有について。

**答** 「地域と共にある学校」を一つのスローガンにしている。地域団体と連携して防災訓練を行う小・中学校もあり、市としてもそれらの団体と情報共有や協力をしながら、地域と学校との連携の取組が市全体に広がっていくよう努めていく。

**問** 商工会等との連携による、お得感を感じるような地域コミュニティの活性化について。

**答** 地域の方々と商店の双方がメリットを感じることで、継続性のある事業を見据えて、コミュニティ協議会及び商工会と具体的な協議を進めている。

◎その他の質問

一 人気上昇中の「つるゴン」の今後の活用について

二 スーパーシティ構想について